



むきたてのカキを見て触って観察



ロープを丁寧に筏につるしていきます

## 海のミルウを育てる

### 裳掛小学校5年生がカキの種付けを体験

6月9日、裳掛小学校5年生10人が邑久町漁協魚市場（邑久町虫明）でカキの種付けを体験しました。

いましたが、2本、3本と作業を進めるうちに組合員からも「上手になったなあ」との声が。

これは、全国的にも有名な虫明のカキ養殖を学ぼうと、総合学習の一環として昨年度から実施しているものです。

その後、船に乗って長島沖の筏へ。生徒たちが見守る中、組合員が出来上がった88本のロープを筏から海中につるしていきました。

種付けしたカキと一緒にハイ、チーズ！



真剣な顔で作業

生徒たちは、同漁協職員や組合員の指導を受けながらロープにカキの種苗が着いたホタテの貝殻（コレクター）を結び付けていきました。初めは慣れない作業にとまどって

今回種付けしたカキは、むき身ベースで約130キの収穫が見込まれ、毎年1月末に開催される「邑久町漁協かきまつり」で生徒たちによって販売されることになっていきます。なお、この販売代金は、今後の体験学習に使われる予定です。

## たくさんの人に読んでほしい

### はないななさん(本市在住作家)が自著を寄贈

6月16日、作家はないななさんが自著「赤い月・青い月」と「ブルー・ヘヴン」各3冊を本市に寄贈しました。

はないなさんは、広島県尾道市出身で、現在は結婚して本市に在住。忙しい主婦業の傍らで本を執筆しています。

「赤い月・青い月」は、月からやって来たウサギが人間に姿を変え地球の女の子と恋に落ちるといふファンタジー。備前市伊部の備



日下教育長に本を手渡すはないさん(左)

前焼、蒜山高原、笠岡市のカプトガニ博物館など随所に岡山の名産品や名所が登場し、作品を一層身近に感じることが出来ます。

また、「ブルー・ヘヴン」は、ハンセン病療養施設に住む一人の女性の目を通して描かれる患者同士の心温まる交流の物語。フィクションですが、ハンセン病への理解を深める第一歩になるのではないのでしょうか。

これらの本は、市内各図書館・室に置く予定です。皆さんもぜひ読んでみてください。はないさん、ありがとうございました。



寄贈された「赤い月・青い月」と「ブルー・ヘヴン」

## エネルギーの大切さを体験

### 今城小学校4年生が環境学習

6月25日、今城小学校（邑久町大富）で4年生38人が参加して環境学習教室が開催されました。

この教室は、おかやまエコマインドネットワークの主催で行われ、「ストップ！地球温暖化！省エネと自然エネルギーを体験してみよう」をテーマに講義やさざまな実験を通して地球温暖化や省エネについて学習するものです。

生徒たちは、まず激変する地球環境についてスライドなどをを使って学習。その後、班に分かれて体験コーナーへ。



「涼しい〜」でも発電自転車をこぐのは大変！

汗だくになりながら人力発電自転車をこいで扇風機を動かしたり、廃食油を精製したバイオディーゼル燃料（BDF）で走る車を見学したりして、エネルギーの大切さを実際に体験。この他にも太陽光を集めてクッキーを作るなど、自然エネルギーの有効活用も学習しました。

地球温暖化を身近に感じる事が多くなっているこのころ。皆さんも身近なところから環境に優しい取り組みを始めてみませんか。

## 水害から地域を守るために

### 市消防団が水防訓練を実施

出水期を迎え、水害の被害を未然に防ぐことを目的として、市消防団が各地域で水防訓練を行いました。

このうち、7月5日に消防本部（邑久町本庄）で行われた訓練では、土の作りを行いました。

砂を入れるとかなりの重さになる土のうですが、団員の皆さんは、息の合った

作業で、約800個を作りました。

水害が起きるとたくさん土のうが必要となります。特に近年は、集中豪雨や高潮の発生率が高くなっています。消防団では、こうした機会を利用して少しでも多くの土のうを備蓄し、水害への備えを万全なものにしています。



次々と土のうを作る消防団の皆さん

## みんなの手で豊かな瀬戸内海を

### リフレッシュ瀬戸内（海岸清掃）

7月8日、前泊海岸（邑久町福谷）と扇海岸（邑久町虫明）でボランティアと地域住民による清掃活動が行われました。

この活動は、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の主催で、美しい瀬戸内海を守るために毎年行われているものです。

当日集まった約200人の

参加者は、ごみ袋を片手に、海岸に流れ着いた流木、ペットボトル、発泡スチロールなどを回収。1時間ほどの活動で約2トンのごみが集まりました。

これらのごみの大部分は日常生活に由来するものです。次の世代に美しい海を残すためにも、わたしたち一人一人がゴミを出さない生活を送る必要があります。



BDF車を前に講師の説明を熱心に聞く生徒たち

